



逆瀬川 あゆみだより

NO.214 2025. 4
社会福祉法人
聖隷福祉事業団
逆瀬川あゆみ保育園
宝塚市逆瀬川 2-2-8
TEL0797-77-0415

ご入園、ご進級おめでとうございます。

満開の桜の花が待ち遠しい4月。新しい年度を迎えました。期待、喜び、不安、緊張など様々な感情が入り交じり、何かと落ち着かないものですが、子どものありのままの姿を大切にしながら一歩ずつ進んでいけたらと思っています。

新入園児さんにとっては、家庭から離れて初めての集団生活ですね。初めての環境などで、泣いてしまう姿があったり、緊張感から少々疲れを感じる事があったりするかも知れませんが、必ず安心して過ごせる日がきますので、保護者の皆さんも、焦らずゆっくり過ごしていきましょう。

進級児は、大きくなったという喜びと嬉しさはあるものの、保育室の変化や新たな環境に慣れようと頑張りすぎたりする姿もあります。なんとなくの不安から注目を集めるために、お試し行動（マイナスな行動をあえてしてしまうこと）をしたりすることもあるかもしれません。まずは、子ども達が安心できるよう、子ども達の姿をしっかり受け止めていきたいと思います。子ども達の気持ちや行動の意味を理解し、受け入れ、日々を祈りながら過ごしていきたいです。

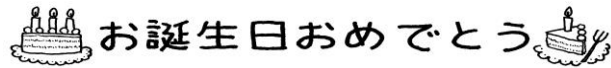
日常の中で、大人は子どもに対して「あとでね」という言葉をよく使います。「あとでね」と言ったきり、対応をしないでいると、子ども達はどう感じるでしょう。大人に話をしても「あとでね」ばかりで、聞いてくれない・・・話をするのはやめておこう・・・など子どもの心はどこにむいてしまうのでしょうか。ちょっとしたやり取りの場面ではありますが、子どもにとってみれば、大切な時です。子どもの気持ちを受け止めて対応することがとても大切です。大人が忙しく時間に追われているときにありがちな光景なので、すぐに聞いてあげることができなくても、「お待たせしました！どうしたの？」と声をかけることが大切かも知れませんね。丁寧にやりとりしていくことが、子ども達にとって、「愛されている自分」を実感することではないでしょうか。大人が「あなたのことを大切に思っている」「愛している」と思っているでもそのことを子どもが実感していなければ意味がありません。子どもひとり一人が愛されている自分を「実感」していければ、社会の中の人との関わりは希薄ではなく、争いも少なくなるかも知れませんね。

新生活も私達保育者や保護者の皆様のあたたかいまなざしの中で、子ども達は、泣いて、笑って・・・を繰り返し安心感をもって園生活を送ってくれることを願うばかりです。

2025 年度もよろしくお願い致します。

辻田 紀子





7名のおともだち

すくすくおおきくなあれ♪

愛によって歩みなさい

「キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。」（エフェソの信徒への手紙5：2）

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋

新年度を迎えました。保育園の中に元気な子どもたちの声が響いています。

「あなたがたも愛によって歩みなさい」という聖句は、あゆみ保育園の基礎になるみことばです。この言葉の背景には、その前にある「キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように」という言葉があることを忘れてはなりません。キリストが、私たちの罪のために十字架にかかって、ご自分の命をお捨てになったということを述べています。つまり、キリストが私たちのために命を捨てるほど愛してくださったように、そのように「あなたがたも愛によって歩みなさい」と奨められているのです。もの心がついて間もない子どもたちに、そのような愛を伝えていく者でありたいと思います。

